

撮影した写真やワークシートに書き込みをして、わかりやすく伝える能力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 西宮市立上ヶ原南学校 伊藤 道海

<p>本時の目標</p> <p>・身の回りにある物でかけ算の式で表せるものを見つけることができる。 ・ワークシートを作成し発表することができる。</p>	<p>校種・学年</p> <p>小学校・2年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>算数</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・スマイルネクスト</p>
	<p>備考</p> <p>・端末付属のカメラ</p>

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
<p>導入</p>	<p>○今まで学習してきたかけ算の考え方を復習する。 ◆デジタル教科書を大型テレビに映しながら説明する。</p>
<p>展開</p>	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>身の回りにある物でかけ算の式で表せるものを見つけて発表しよう。</p> </div> <p>○ワークシートの課題に取り組む。（資料1） ◆ワークシートの作成方法を大型テレビで提示する。 ◆スマイルネクストで配布した「かだい」のワークシートを開く。 ◆かけ算の式で表せるものの写真を教室や校舎内で探し、端末付属のカメラで撮影する。 ◆撮影した写真をワークシートに貼り付ける。 ◆式を書く欄に、かけ算の式を書く。（資料2）</p>
<p>まとめ</p>	<p>○各自のシートを、大型テレビに映し共有する。 ○宿題として家でもかけ算の式で表せるものを探して、ワークシートを作成するように伝える。</p>

育成できる情報活用能力

◎提示した資料から必要な情報を読み取る。また、この資料を各児童に配布することで必要時に見ることができる。

◎みのまわりから かけ算のしきで 書けるものを見つけよう。

☆やり方


①かけ算のしきでかけ算のものを見つける。

②「+（はる）」からしゃしんをとり、はりつける。

★人や、おみせのしょうひんはとりません。

③「ペン」をつかって しゃしんの中の **1つ分の数を赤い線**でかこむ。

④「ペン」で□にあてはまる数を黒で書く。

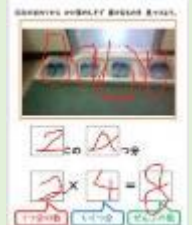


保護者の方へ
写真は通信環境下でなくとも撮影できますが、保存は通信環境下で行ってください。右上の雲のマークが「保存済み」になっていることをご確認ください。

（資料1）

育成できる情報活用能力

◎撮影した写真にペン機能で丸を囲んだり、式の書き込みをしたりして、相手にわかるように加工する。



（資料2）

児童の様子

・端末の写真機能を使うためか、どの児童もとても意欲的に撮影する活動に取り組んでいた。この活動を通して、学校の中に、かけ算で表すことができるものがたくさんあることに驚いていた。
・家庭でも家族と協力してかけ算になるものを探すことを楽しんだ様子だった。

<情報活用能力の育成とその効果>

・写真をワークシートに貼り付けるだけでなく、ペン機能を使って、丸で囲んだり、式を書き込んだりすることにより、自分が発見したことを整理し、相手に伝わりやすく表現する能力を育成できる。

面積の概念を理解し、思考したことを具体的に表現する能力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 香美町立兎塚小学校 中村 将志

本時の目標	校種・学年	小学校・4年
・面積の単位「 cm^2 」について知り、 1cm^2 を単位にして、いろいろな形の面積を求めることができる。	教科・領域	算数
	アプリ・ソフト	・デジタル教科書(啓林館)
	備考	

○本時の展開

	○学習活動(◆指導上の留意点)
導入	○問題を読んで課題把握をする。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1辺が1cmの正方形が何個分あるかで面積をくらべよう。 </div>
展開	○2つの図形では、どちらが広いかを考える。 ◆デジタル教科書のコンテンツを使って、1辺が1cmの正方形が何個分あるか、1つずつタッチして調べさせる。 ○端末操作をしながら自分の考えを友だちに伝える。 ◆端末操作をしながら、1辺が1cmの正方形が何個分あるかを具体的に説明するよう指示する。 ○面積の概念を知り、「 cm^2 」の書き方を覚える。
まとめ	○適用問題に取り組む。 ◆単位(cm^2)をつけて面積を表させる。 ◆補助線等を書く場合は、色を変えて書かせる。 ○振り返りをする。

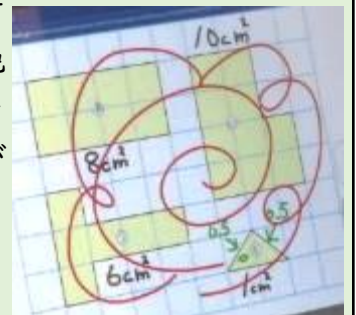
育成できる情報活用能力

◎図形をタッチしながら面積について説明することで、具体的に思考していることを表現することができる。



育成できる情報活用能力

◎答えを記入するだけでなく、色を変えて考えを書き表すことができる。



児童の感想

- ・「1辺が1cmの正方形が何個分あるか」を実際にタッチして考えることができたので分かりやすかったし、発表もしやすかった。
- ・色を変えて自分の考えを書くことができるので考えを整理しやすかった。
- ・見せたいところを拡大できるから発表がしやすかった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・端末を使って、思考したことを視覚的に分かりやすく表現する力を育成することができた。
- ・端末を使って表現することの有用性を実感させることができた。
- ・今後、類似した問題を解くときに、児童の中での思考ツールとして「端末を使う」ということが解決手段の1つに加わった。

他者と自らの考え方を比較し、多角的に情報を検討しようとする意欲と態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 赤穂市立坂越小学校 津 孝明

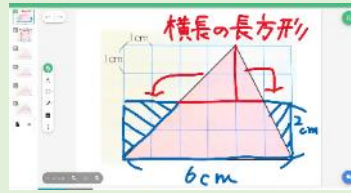
本時の目標	校種・学年	小学校・5年
・長方形や直角三角形の面積の求め方から、一般の三角形の面積の求め方を考えることができる。 ・図形の変形について、友達の考えと自分の考えを比べて、共通点や相違点に気付くことができる。	教科・領域	算数・面積
	アプリ・ソフト	・schoolTakt
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 三角形の面積を求めよう。 </div> ◆既習の直角三角形の求積方法について、電子黒板を用いて提示することで、全体で共有し解決の見通しをもてるようにする。
展開	○端末上で図形を操作しながら、一般三角形の面積の求め方を考える。 ◆補助線を引く、数値を書き込むなど、端末上での操作を簡単にすることで、図形の変形を素早く行うことができるようにする。 ◆求積方法を共同閲覧できるようにし、互いの考えの相違点や共通点に気付いたり新しい考えを取り入れたりできるようにする。
まとめ	○全体で確認し、よりよい三角形の求積方法について話合う。 ◆電子黒板で提示することで、全体で共有しやすくするとともに、相手を意識して発表ができるように、電子黒板上でも図形に補助線を書き込んだり指し示したりするように声かけをする。

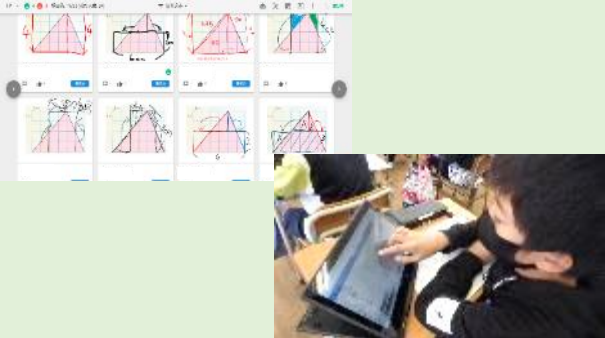
育成できる情報活用能力

◎単純な操作で、より分かりやすく図形の変形について表すことで、相手意識をもった表現の仕方が身に着くようにする。



育成できる情報活用能力

◎クラスの児童の多様な考えを一度に閲覧し、自らの考えに必要な情報について、比較検討したり新たな考えとして取り入れたりすることができるようにする。



<情報活用能力の育成とその効果>

- ・何人もの考えを一度に閲覧し、比較したり参考にしたりすることで、よりよい求積方法について様々な考えの中から検討しようとする能力が育成できる。
- ・解法が多数ある場合には、自分でシートを複製し様々な考え方で課題に取り組むことで、主体的に学びに向かう力の育成を図ることができる。

児童の反応
・色々な図形の変形の仕方を一度に見ることができたので、考えの参考になった。 ・考えを交流する時に、実際に端末で操作しながら発表することができたので、伝えやすかった。

分類 C-1-②-7

複数の情報から自らの課題や目的に応じた選択をし、課題解決の計画を立てたり、評価・改善したりする。

試行錯誤し、計画や改善しようとする態度

HYOGO スクールエバンジェリスト 芦屋市立山手小学校 光岡 智史


本時の目標 ・底面や側面の形、それらの位置関係を調べることを通して、角柱、円柱について理解する。 ・複数の学習コースから、自らの課題や目的に応じた選択をし、課題解決の計画を立てたり、評価・改善したりする。	校種・学年	小学校・5年
	教科・領域	算数・図形(角柱と円柱)
	アプリ・ソフト	・ミライシード(オクリンク)
	備考	

○本時の展開

	○学習活動(◆指導上の留意点)
導入	○本時のめあてを確認する。 角柱や円柱の底面や側面について調べよう。 ○コース別学習についてのガイダンスを聞く。 「基礎的な内容の確認から始めるコース」 「演習から取り組むコース」 「自分なりに内容をまとめるコース」 「探求したい内容に取り組むコース」 ◆それぞれの指示内容をオクリンクで送信する。 自らの課題に応じて選択できるよう促す。
展開	○コース別学習に取り組む。 ・必要に応じて教科書の動画「スマートレクチャーわくわく算数」(啓林館)を見ながら取り組む。 ・教科書やプリントの課題に取り組む。 ・まとめや探求レポートを提出する。 ◆机間巡視しながら、児童が学習を進められるようサポートする。
まとめ	○班で各々がどのように学習を進めたかを交流した後、個人で振り返りをして提出する。 ◆自分の学習の進め方を振り返ることができるように促す。

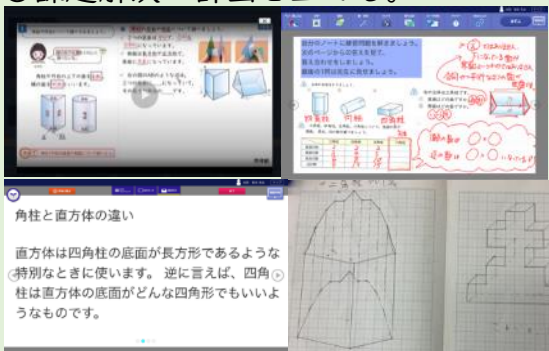
育成できる情報活用能力

◎複数の学習コースから、自らの課題や目的に応じた選択をする。



育成できる情報活用能力

◎課題解決の計画を立てる。



育成できる情報活用能力

◎学習を振り返り、評価・改善をする。

児童の感想
・「コース別学習」は、最初はできるか心配だったが上手くできてよかった。次も楽しみだ。 ・緑色のコースが一番自分にあった気がした。頂点の数と円の数を求めるのが難しかったけど、ヒントを見て理解することができた。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・自分の選択で学習を進めることができていた。
- ・一斉授業の形よりも、個人個人が動画を何度も見返したりしながら課題に取り組んでいた。
- ・友達と学習の進め方を交流することを通して、自分の学習を評価・改善することを促すことができた。